

美術科学習指導案

指導者 路 奥 千 尋

1 日 時 令和元年10月8日(火) 5, 6時間目

2 学 級 1年7組 男子16名 女子15名 合計31名 東校舎 第1美術室

3 題 材 「描かれた世界が語るの」 B:鑑賞

4 題材について

本題材は、B 鑑賞(1)ア「造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること。」を目標とし、伊藤若冲(1716~1800)の「鳥獣花木図屏風」(紙本着色・六曲一双、江戸時代)を扱い、美術作品の鑑賞に興味関心をもたせることをねらいとした。

1年生に鑑賞についてのアンケートを行ったところ、219人中140人の生徒は、美術作品の鑑賞に対して「作者の個性や気持ちが表れていて面白い」「絵をうまく描ける手本になる」などと、ポジティブなイメージを持っていることが分かった。しかし、残り79人の生徒は鑑賞を苦手ととらえており、「すごいと思ってうまく言葉に表現できない。」「どこを観ればいいのかわからない」「どんな意図で描いたのかを読み取るのが苦手」と答えている。このことから、生徒が日常生活においても美術を楽しむために、鑑賞活動を積み重ねることで鑑賞を身近に感じ、美術に親しむ姿勢を育てていく必要があると考えた。

「鳥獣花木図屏風」は、東日本大震災復興支援の展覧会の中心的な作品であり、平成25年に岩手県立美術館で展示、その後東北三県を巡回し、被災地の人々を元気づけた。本作品には、たくさんの動植物が描かれており、表現様式にも特徴的な美を感じることができることから、鑑賞を苦手とする生徒も親しみやすく興味関心を持てると考え、今回の題材とした。

本作品に描かれるいきものや独特な造形的要素に注目しながら、形や色彩などに視点を置いて感じたり、考えたりしたことについて、対話を通して仲間の多様な感じ方に触れ、若冲が描いた世界について自分なりの考えをもたせたい。また、対話を通して自分にはない新たな見方や感じ方に気づかせ、作品の見方や感じ方が広がり、鑑賞の活動に楽しく取り組めることができるようにしたいと考えている。

5 本時の達成目標

1時間目…「鳥獣花木図屏風 右隻」を鑑賞し、形や色彩、造形的な特徴などの視点を基に、作者の心情や表現意図について自分の考えをまとめることができる。

2時間目…六曲一双の「鳥獣花木図屏風」を鑑賞し、右隻と左隻を比較して共通点や違いを見つけながら、形や色彩、造形的な特徴などの視点を基に、作者の心情や表現意図について自分の考えを、根拠を持ってまとめることができる。

6 評価場面での生徒の記述例 【鑑賞の能力】

【1時間目】

おおむね満足 B	十分満足 A
<p>動物同士が争いなく一つの画面に収まっているので、平和な世界になってほしくて描いたと思う。(根拠をもって、作者の心情について考えている。)</p>	<p>架空の動物が描かれていることや、枠の模様や色遣いがあざやかなところは、中国やインドの雰囲気を感じた。そこから非現実的な世界だと思った。また、背景の白い塊は雲のように見えたので、ここは天国のようだと思った。だから、人間のいない世界で動物が平和に共存する極楽浄土の世界を表現したのではないか。(造形の要素や造形的な特徴などを基に、根拠をもって作者の心情や表現の意図について考えている。)</p>

【2時間目】

おおむね満足 B	十分満足 A
<p>左は鳥、右は獣が描かれていることから、自分と見た目や種族が違うところがあっても仲良くしていこうということを表し、人間の世界に見立てていると思った。(根拠をもって、作者の心情について考えている。)</p>	<p>屏風の周りの模様やマス目書きが共通していて、並べた時に背景がつながっているように見えたので、鳥も動物も同じ世界にいるのだと思う。象の背中の人に人間の存在を感じたので、本当は人間の世界を表していて、違いがあっても受け入れようということを表したのではないか。(造形の要素や造形的な特徴などを基に、根拠をもって作者の心情や表現の意図について考えている。)</p>

7 振り返りの場面での生徒の記述例

【1時間目】

- みんなの意見を聞いて、自分が気付かなかった事や作者の伝えなかったことなどを感じることができた。
- 人によって考え方が異なるので、もっと交流して自分の考えを広げ、いろいろな視点で作品を見ていきたい。

【2時間目】

- 並んだ作品を鑑賞すると、共通点や違う点があり、片方を見る時よりも深く見ることができた。マスを描いてそこに合わせて色を塗っていることや、空想の生き物を描いていることなどから、作者が想像力豊かな人だということが分かった。
- ○○さんの意見から、自分の考えが更に深まったと思う。また鑑賞する時は、作者の表したいことについて、考えてみたい。

8 本時の展開 【1時間目】

段階	学習内容	指導上の留意点 評価の観点・方法 ◆教材・教具等
導入 2 5 分	1 本時の学習について説明する。 2 作品を鑑賞し、感じたこと・気づいたこと・知りたいことを班で交流しながらホワイトボードに記入する。 3 班で交流したことを全体で共有する。 4 作品全体を投影し、鑑賞する。 5 学習課題を把握する。	2 4人班で作品を鑑賞する。鑑賞して見つけたことや気付いたことなどを書かせる。 ◆作品、ホワイトボード 3 形や色彩、造形的な特徴などの視点を基に班で共有させる。 【主体的】不思議な世界だ、どこの国の作品だろう、など自分たちが抱いた疑問をもとに考えてみることを確認する。
展 開 2 0 分	<p style="text-align: center;">作者がこの絵で伝えたかったことはなんだろう？</p> <p>第1ステップ</p> 7 学習プリントに、学習課題について自分の考えを記入する(個人)。 <p>第2ステップ</p> 8 学習プリントを班→全体で共有する(班)。 【対話】隣・向かいの人と、それぞれの考えを説明し合い、根拠をもって対話に臨む。また、全体で意見を交換し、新たな見方・考え方を得て、自己の考えをまとめる。 <p>ラストステップ</p> 9 班の交流から自分の考えの変化や他者の意見を踏まえて、学習シートに自分の考えをまとめる。数名発表する。	7 自分が考えたことや感じたことを言葉にすることにより、整理させる。 ◆学習シート 8 共感・発見した他者の意見を赤ペンでメモさせる。意見をどんどん発表させる。 2～4・7～9 【美術への関心・意欲・態度】 形や色彩などの特徴や印象、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心をもって主体的に感じ取り、考えをまとめようとしている。 9 作品との対話や仲間との対話から根拠をもって書けているか確認する。 ◆学習シート 9【鑑賞の能力】 作品の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わいながら自分の考えをまとめている。(学習シート) A: 課題に対する自分の考えを、形や色彩、造形的な特徴などの視点を基に、根拠を明らかにしながら自分の言葉で創造している。 C: 課題に対する自分の考えの根拠を明らかにさせる。共感した考えや作品の部分に注目し参考にさせる。
終 末 5 分	10 本時の学習活動を振り返る(個人)。数名発表する。	【リフレクション】本時の学習で気づいたことや、対話からさらに考えたことや変化した自分の考え、他の人の意見から参考になったこと、その他新たに浮かんだ疑問点や今後生かせそうなことを振り返らせる。 ◆学習シート

【2時間目】

段階	学習内容	指導上の留意点 評価の観点・方法 ◆教材・教具等
導入 15分	1 1時間目のまとめを確認する。 2 左隻を紹介する。 3 左隻を鑑賞し、感じたこと・気になったことを共有する(班)。 4 学習課題を把握する。	1 右隻について、板書を確認する。 2 プロジェクターで左隻を投影する。 3 作品について感じたこと・気になったことを班で交流する。どこからそのように考えたのかを明らかにして話をさせる。 【主体的】なぜこの屏風を描いたのか、自分が作者ならどんなことを考えるか想像する。
展 開 30分	<p style="text-align: center;">作者が二つの絵で伝えたかったことはなんだろう？</p> <p>第1ステップ</p> 5 左隻と右隻を合わせて鑑賞し、学習課題について考える。自分の考えをプリントに記入する(個人)。 <p>第2ステップ</p> 6 班で考えたことを交流する(班)。 7 全体で考えたことを交流する。(全体) 3・6・7【対話】 隣・向かいの人と、考えを説明し合い、自分にはなかった視点や考えを持ったりする。また、全体で共有し、新たな見方や感じ方を得て、自己の考えを再構築する。 <p>ラストステップ</p> 8 1時間目と、ステップ1・2をもとに、若冲の表現意図について、自分の考えを再構築したり、考えをまとめたりする(個人)。	5 プロジェクターで六曲一双を投影する。 二つを比較し、共通点・相違点について考えさせてから、自分の考えを記入する。 ◆学習シート 2・3・5～8【美術への関心・意欲・態度】 形や色彩などの特徴や印象、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心をもって主体的に感じ取り、考えをまとめようとしている。 6 自分の考えを、根拠をもって説明させる。 7 他者の意見から感じたことや考えたことを赤ペンでメモさせる。 8 まとめたのち、数人に発表させる。 ◆学習シート 8【鑑賞の能力】 右隻と左隻の共通点と相違点に気づき、それぞれの作品の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、根拠をもって自分の考えをまとめている。(学習シート) A: 課題に対する自分の考えを、作者の意図に触れ、根拠を明らかにしながら自分の言葉でまとめている。 C: 課題に対する自分の考えの根拠を明らかにさせる。共感した考えや作品の部分に注目し参考にさせる。
終末 5分	9 本時の学習活動を振り返る(個人)。数名発表する。	9【リフレクション】本時の学習で気づいたことや、対話からさらに考えたことや変化した自分の考え、他の人の意見から参考になったこと、その他新たに浮かんだ疑問点や今後生かせそうなこと、を振り返らせる。 ◆学習シート

9 指導と評価の計画

1 年 美術		題材名 「描かれた世界が語るのは」 （「鳥獣花木図屏風」紙本着色・六曲一双、江戸時代）	総時間 2時間扱い
学習指導要領の指導事項		題材の目標	
<p>1 目標</p> <p>(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。</p> <p>(2) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。</p> <p>2 内容 B 鑑賞(1)</p> <p>ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること。</p>		<p>「鳥獣花木図屏風」の形や色彩などの特徴や印象、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心をもって主体的に感じ取ろうとしている。</p> <p>「鳥獣花木図屏風」右隻の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わうことができる。</p> <p>「鳥獣花木図屏風」右隻と左隻の共通点と相違点に気づき、それぞれの作品の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の考えを深めることができる。</p>	
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)	
1 本時	「鳥獣花木図屏風 右隻」を鑑賞し、若冲が描いた世界について、自分の考えをまとめる。	関	形や色彩などの特徴や印象、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心をもって主体的に感じ取り、自分の考えをまとめようとしている。
		鑑	作品の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わいながら、自分の考えをまとめている。
2 本時	六曲一双の「鳥獣花木図屏風」を鑑賞し、共通点や相違点を見つけながら、作者の表現意図について自分の考えをまとめる。	関	形や色彩などの特徴や印象、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心をもって主体的に感じ取り、自分の考えをまとめようとしている。
		鑑	右隻と左隻の共通点と相違点に気づき、それぞれの作品の形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、根拠をもって自分の考えをまとめている。

1年美術 「描かれた世界が語るのほ」鑑賞①

1年 組 番 氏名 _____

- 学習のポイント
- 自分が感じたこと、気づいたことを積極的に話そう。
 - 仲間の話をよく聞こう。
 - よい考えやなるほどと思った意見を赤ペンでメモしよう。

学習課題

自分の考え①

自分の考え②

- 今日の授業で考えたこと、気づいたことを振り返ろう。

1年美術 「描かれた世界が語るのは」鑑賞②

1年 組 番 氏名 _____

--	--

学習課題

自分の考え①

自分の考え②

●今日の授業で考えたこと、気づいたことを振り返ろう。
